

大阪スマートシティパートナーズフォーラム

第2期プロジェクト 成果発表会

これまでの取り組みと今後の方向性について

2021.10.27

スマートヘルスシティ

TIS株式会社

DXビジネスユニット ヘルスケアサービスユニット

ヘルスケアサービス企画営業部

シニアプロデューサー 山本 勇樹

本日お話しさせていただく内容について

1 . プレゼンター自己紹介

2 . TISの紹介とヘルスケア・スマートシティへの取り組み

3 . OSPFでのこれまでの取り組み

4 . OSPFでの今後の方向性について

5 . おわりに

1. プレゼンター自己紹介

山本 勇樹

TIS株式会社 ヘルスケアサービスユニット シニアプロデューサー

Tスクエアソリューションズ株式会社 取締役

ユニバーサル・サウンドデザイン 社外取締役

大阪市立大学 ヘルスケアスタートアップス メンター

東京医療保健大学 総合研究所 研究員



2002年にTIS入社後、製薬業向け業務システム開発を中心にシステムエンジニアやプロジェクトマネージャー、ITコンサルタント、営業マネージャーの立場でITビジネスの実務を経験。現在では多くのヘルスケア企業やスタートアップベンチャー、大学の産学連携等におけるアドバイザーやオープンイノベーションを推進するビジネスプロデューサーとして業務に従事、現在に至る。

ヘルスケア領域における社外での活動も多く担当しています



地域包括ケア EXPO

ITで、社会の願い叶えよう。



TIS株式会社 (TIS Inc.)



大阪万博「みどり館」
万博の翌年、みどり会グループが
出資し設立した電算センターが
TISの前身である「東洋情報システム」

◆ **創 業** 1971年4月28日
◆ **設 立** 2008年4月1日
◆ **資本金** 100億円
◆ **従業員** 連結:21,817名
単体:5,838名
(2021年3月31日現在)

◆ **売 上 高** 連結:448,383百万円
単体:199,354百万円
(2021年3月期)
◆ **主要取引銀行** 三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行
◆ **上 場 市 場** 東証第一部 (3626)

2. TISの紹介とヘルスケア・スマートシティへの取り組み

■ 1970年代の時代背景

1970年代は、情報化社会、脱工業化社会と云われ、商品価値は物的価値から情報価値へ移行し、企業の優劣は、情報の処理・取得と分析力によって左右されると言われた時代でした。

TISの前身の1社である（株）東洋情報システムは企業がさらに飛躍するために不可欠なシステム産業（情報産業）を目的として設立されました。

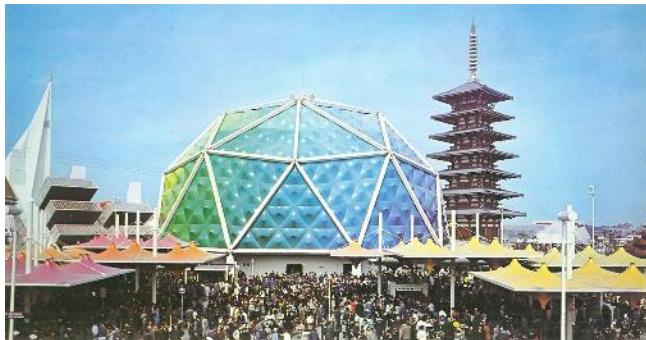


■ みどり会とTIS

三和銀行（当時）を中心とした三和グループ「みどり会」が、1970年に開催された日本万博博覧会（大阪万博）で、アストロラマ「みどり館」を出展し人気を博しました。そのみどり会の参加各社を中心に、日本の代表的な情報産業社会を目指し、各社のシステム技術力と資本力を結集し、1971年4月に（株）東洋情報システム（現TIS）は設立されました。

東洋情報システムは、創業当初より超大型コンピュータを参加各社と電話回線で結ぶタイムシェアリングサービスやソフトウェア開発、みどり会の企画する都市開発、海洋開発、公害防止等の大型プロジェクトに対するシステムサポートなど未来社会に対する夢を実現することを目指しました。

<みどり館>

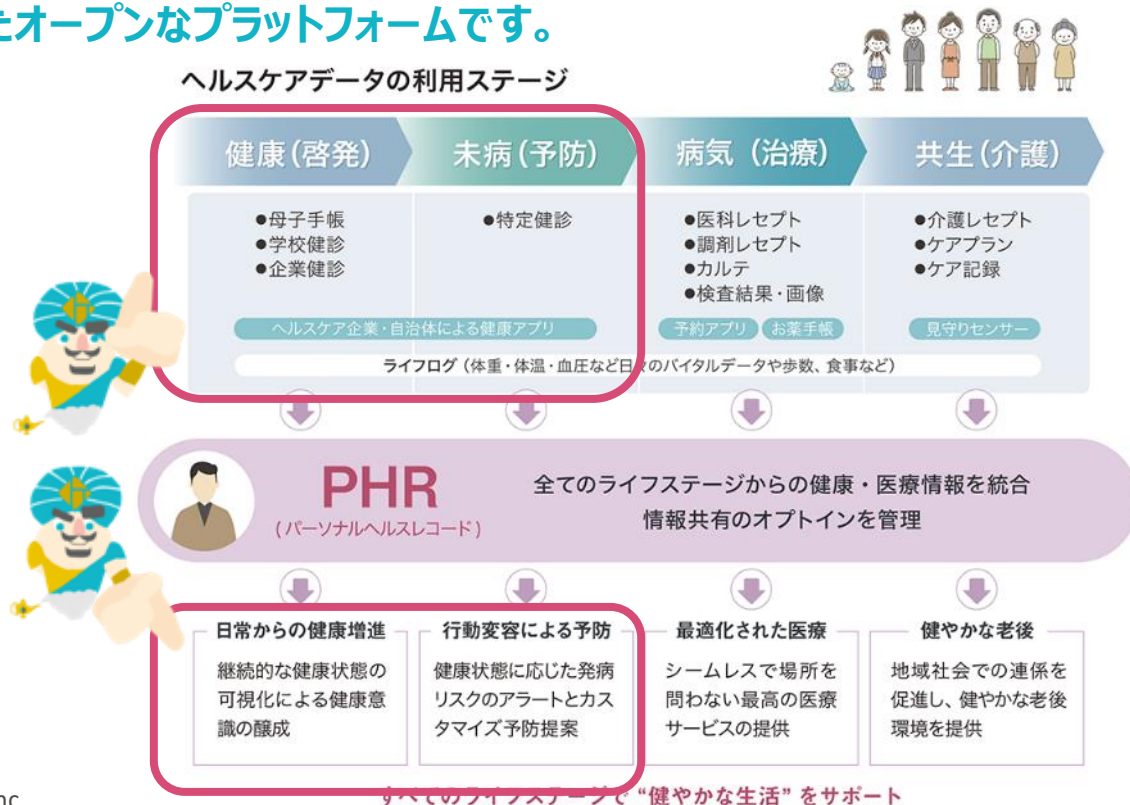


<TISの主な沿革>

- 1971年4月 （株）東洋情報システム設立
- 2001年1月 社名をTIS株式会社へ変更
- 2008年4月 （株）インテックホールディングスと
共同持ち株会社ITホールディングス（株）を設立
- 2011年4月 ソラン（株）、ユーフィット（株）と合併
- 2016年7月 ITホールディングス（株）がTIS（株）を
吸収合併し、事業持ち株会社体制へ
社名をTIS株式会社へ変更

2. TISの紹介とヘルスケア・スマートシティへの取り組み

TISのヘルスケアプラットフォームは、日々の健康増進から病気の予防や治療、介護に亘るさまざまなライフステージの生活者を支える「医療」「健康」情報を対象に、それらを活用するためのIT技術が集約されたオープンなプラットフォームです。



2. TISの紹介とヘルスケア・スマートシティへの取り組み

双方向PHR連携

ヘルスケアパスポート



ヘルスケアパスポートは医療機関だけでなく、生活者とも医療/健康情報を共有する**双方向型PHR基盤**です。

ヘルスケアパスポート4つのメリット

- 1 医療従事者が生活者や他の医療機関と双方向で安全にかんたんにつながる
- 2 クラウドによる低コストかつスモールスタートが可能
- 3 堅牢なセキュリティ管理と運用
- 4 オープンなプラットフォームによる拡張性

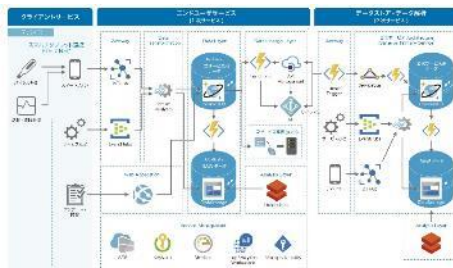
PHRの標準化

ヘルスケアリファレンスアーキテクチャ



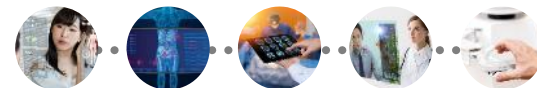
健康情報（PHR）連携の健やかな活性化を図るため、**標準化と相互運用性の確保**を目的としたPHR管理の設計思想と実装サンプルを公開しています。

社会実装の質とスピードを向上し、技術革新や、セキュリティやプライバシー制度対応をIT面で支えます。



Well-Being促進サービス

健康・未病サービス



健康管理 病気予防 治療 回復 介護

生活者のWell-Being促進に機能するサービスを提供しています。

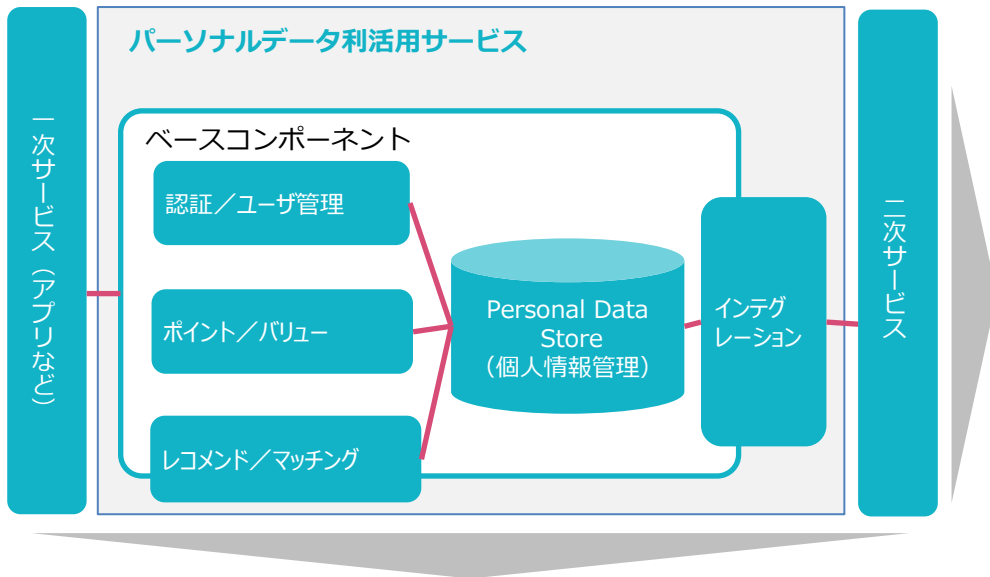
- 生活者向け健康増進サービス
- 地域包括ケア
- 健康経営、コラボヘルス

アカデミアとの連携やオープンイノベーションを通し、社会実装のスピードと実効性の向上に努めています。



2. TISの紹介とヘルスケア・スマートシティへの取り組み

スマートシティの取り組みとして地域通貨、MaaS等に取り組んでおり、ヘルスケアプラットフォームとの連携もデータ基盤の共通化、地域アプリによるサービス統合の両面から取り組んでいます。



すべてのパーソナルデータが、個人のプライバシーを十全に守られた上で、自分自身のため（自分の個性や多様性を活かすため）、社会のため（社会課題解決や地域活性化のため）に有意義に利活用される世界を目指す

共通基盤上の各サービスを束ねる
地域アプリ(会津財布)を会津若松で実証中

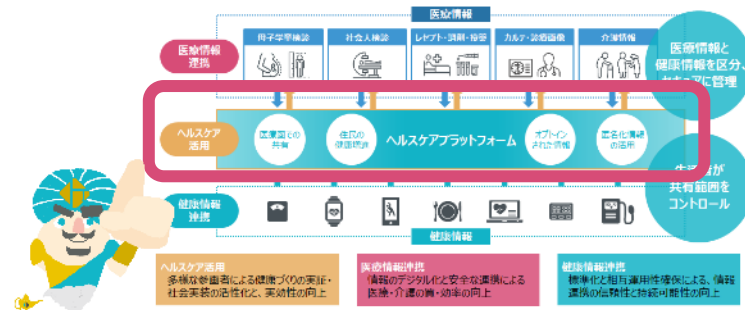


3. OSPFでのこれまでの取り組み

健康未行動者を健康増進に向き合わせる事で大阪府内の健康課題を解決し、健康情報の利活用を促進する持続可能なプラットフォームを構築

具体的な
取組事項

- ① 健康課題解決（生活習慣病リスクの早期検知、重症化予防など）に向けたスマート化の取り組み
- ② 産官学民連携による自治体課題解決と大阪版PFS（Pay For Success：成果連動型民間委託契約方式）やSIB（Social Impact Bond：ソーシャル・インパクト・ボンド）モデルの検討・創出
- ③ 取り組みコンセプトの共感するサービス事業者のPHRサービスをオープンに相互接続し、様々なサービス事業者とつながるプラットフォームの創出
- ④ 上記の実現に向けたオープンイノベーションの推進



今年度は「④病気になる街」の実現に向けた取り組みとして、以下のプロジェクトを実施する予定です。

- ① 毛髪健康チェックによる**老化の原因である糖化たんぱく**や**ストレス履歴**の可視化と健康未行動者の行動変容
- ② 加齢性難聴・**ヒアリングフレイル予防**によるMCI/認知症対策

健康情報を安心・安全に連携するための基盤と健康情報を適切に普及させるためのガイドラインや認定制度のノウハウを元に、様々な**ヘルスケアサービスがオープンに相互接続できるプラットフォームの確立**を目指します。

3. OSPFでのこれまでの取り組み

毛髪健康チェックによる老化の原因である糖化たんぱくや
ストレス履歴の可視化と健康未行動者の行動変容

■「病気になる街」の実現に向け取り組み予定のプロジェクト

いつもの理美容院

37万軒！コンビニの5～6倍！！



- ✓ 毛髪分析の案内
シラガ・シワ・シミ
- ✓ 毛髪の採取

きっかけ

- ✓ 毛髪分析
(糖化タンパク、ストレス)

- ✓ 本人へのフィードバック
- ✓ 健康増進プログラムの提供
(美容師、薬剤師など)

気づき

継続



L TIS Inc.

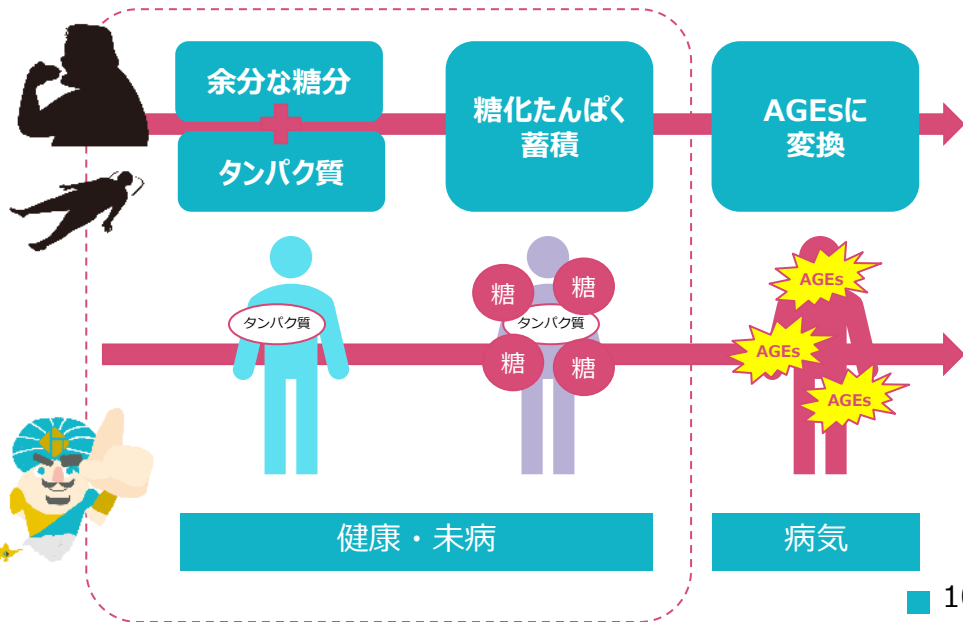


- ✓ 1か月1cm
- ✓ 日常生活で髪は切りに行く



200年前の情報も保存

痛い
めんどくさい
恥ずかしい



3. OSPFでのこれまでの取り組み

加齢性難聴・ヒアリングフレイル予防によるMCI/認知症対策

■「病氣にならない街」の実現に向け取り組み予定のプロジェクト

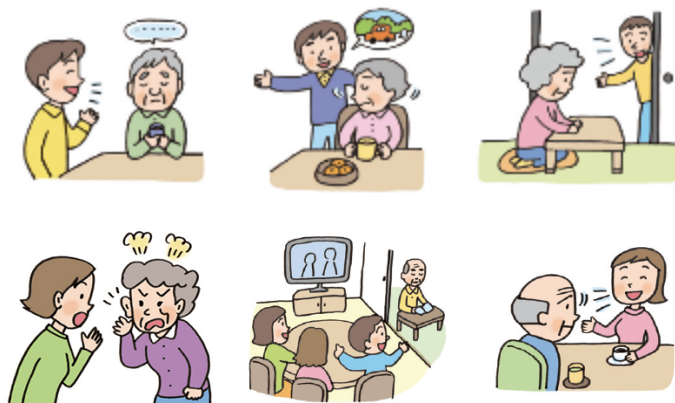


難聴はフレイルの原因！

—フレイルとは介護を必要とする手前の段階です—

掲載日：2020年1月24日

フレイルとは、こころや身体の活力が低下して介護が必要な状態におちいりやすい、弱ってきた状態のことで、介護が必要となる手前の段階です。フレイルであることに早めに気づいて適切な対策をとれば、元の自立した状態に戻ることができると考えられています。



①介護予防講演会・教室で ヒアリングフレイルや聴覚の簡易チェック について紹介



②市のイベントで聴脳力アプリにて 語音聴取情報を取得 自身の言葉の聞き取り状況について説明 (言語聴覚士やヒアリングフレイルサポーター)



④ヒアリングフレイル予防の観点から 支援機器の利用を提案



③耳鼻科医による介入



3. OSPFでのこれまでの取り組み

自治体

会員企業

3 自治体

8 社

自治体の抱える課題をヒアリングしつつ
プロジェクト立ち上げの可能性についてディスカッションを実施

主にPHRのを活用した生活者のWell-Being促進の
可能性に関するディスカッションを実施

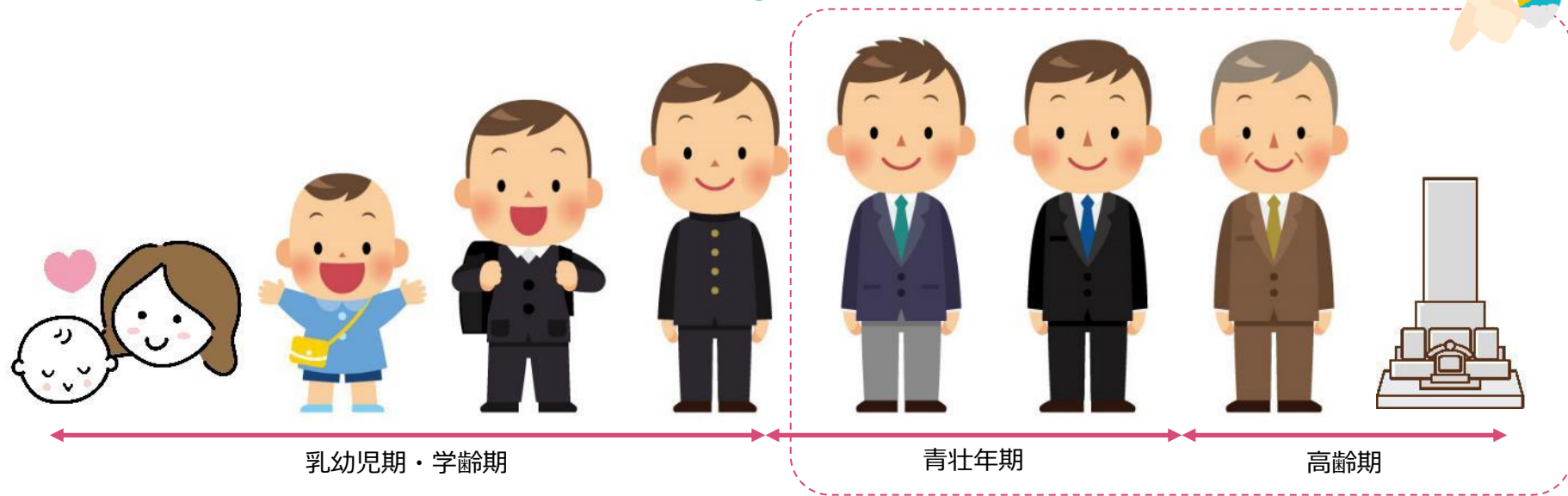
吹田市に向けて健康づくりのプロジェクトをご提案中
注）協議中であるため現時点で内容が確定しているわけではありません

3. OSPFでのこれまでの取り組み

提案中・協議中の内容であるため
中間成果発表の現時点で内容が確定しているものではありません



生活者のライフステージを横串で支え、市民のWell-Being促進を実現するスマートヘルスシティの構築を目指す



ライフログ

健診・医療情報・自治体データetc

ヘルスケアプラットフォーム

3. OSPFでのこれまでの取り組み

提案中・協議中の内容であるため
中間成果発表の現時点で内容が確定しているものではありません

青壮年期

毛髪健康チェック



ウォーキングアプリ



はじめの第1歩は
ウォーキングアプリ「ASTARI」を
活用

市民との対話で得た知見を活かし
美と健康をサポートするアプリを
開発予定



市民参加型の地域イベント



- ・ウォーキングによる“ご褒美”“特別な体験”
- ・まずは健康づくりの“きっかけ”と“気づき”にフォーカスし、市民の声を聞く活動を実施

3. OSPFでのこれまでの取り組み

青壮年期

提案中・協議中の内容であるため
中間成果発表の現時点で内容が確定しているものではありません

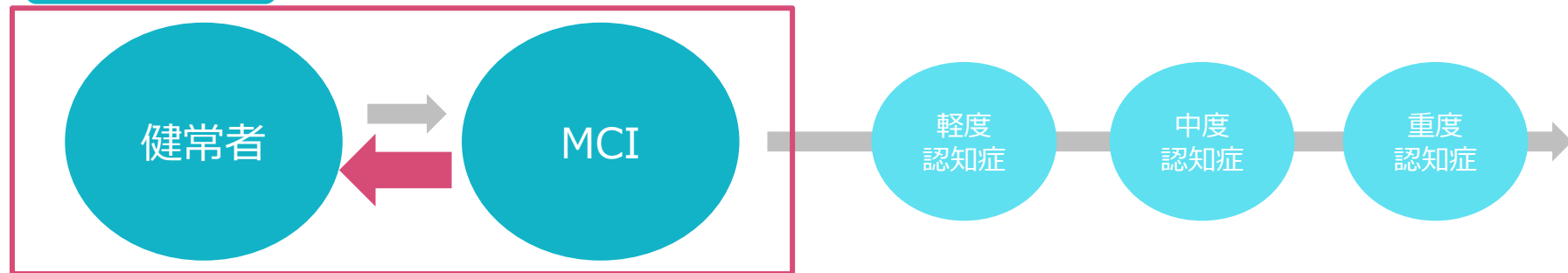


10/23
「dios北千里マルシェ+プラス」
のイベントにお邪魔させていただきました

3. OSPFでのこれまでの取り組み

提案中・協議中の内容であるため
中間成果発表の現時点で内容が確定しているものではありません

高齢期



五感によるMCIスクリーニング・予防

視覚



聴覚



嗅覚



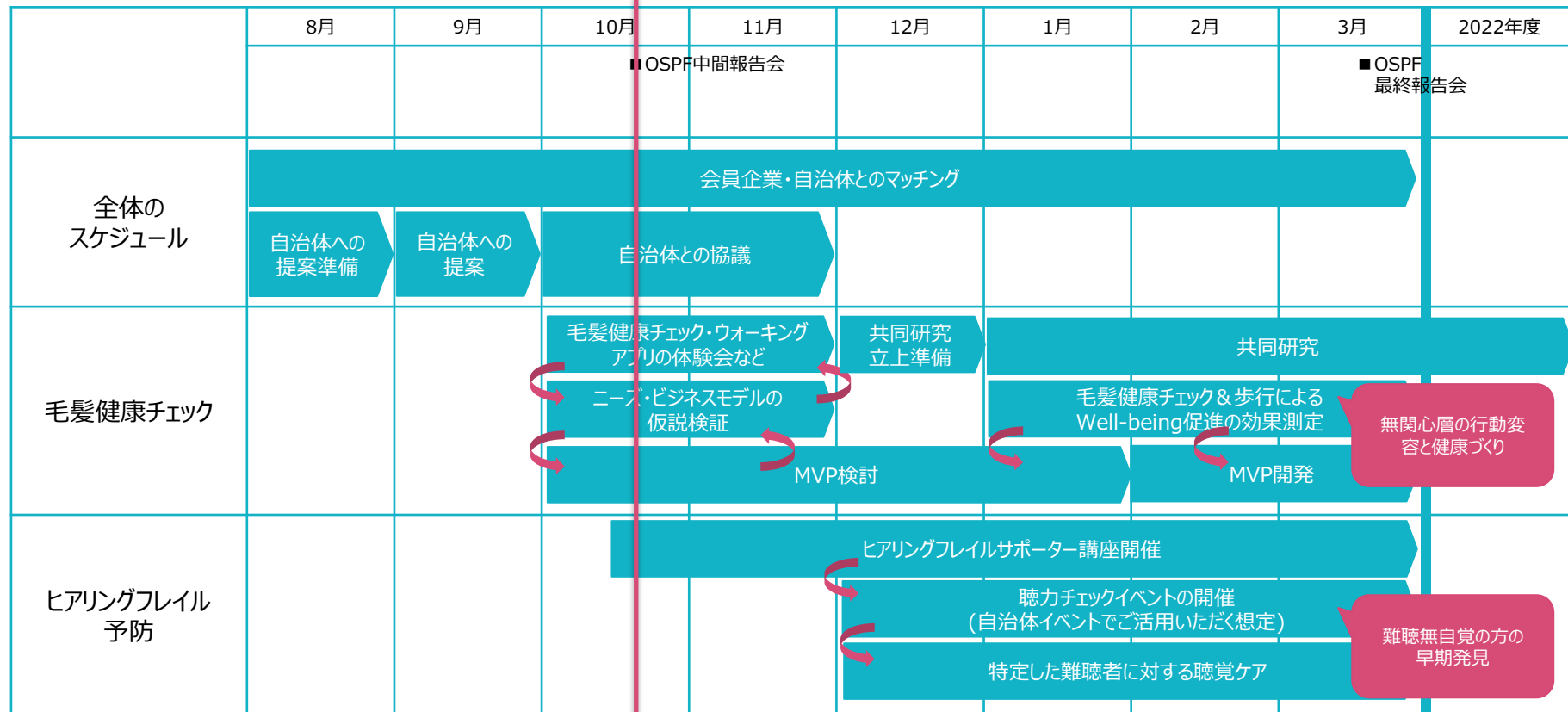
触覚

味覚

4. OSPFでの今後の方向性について

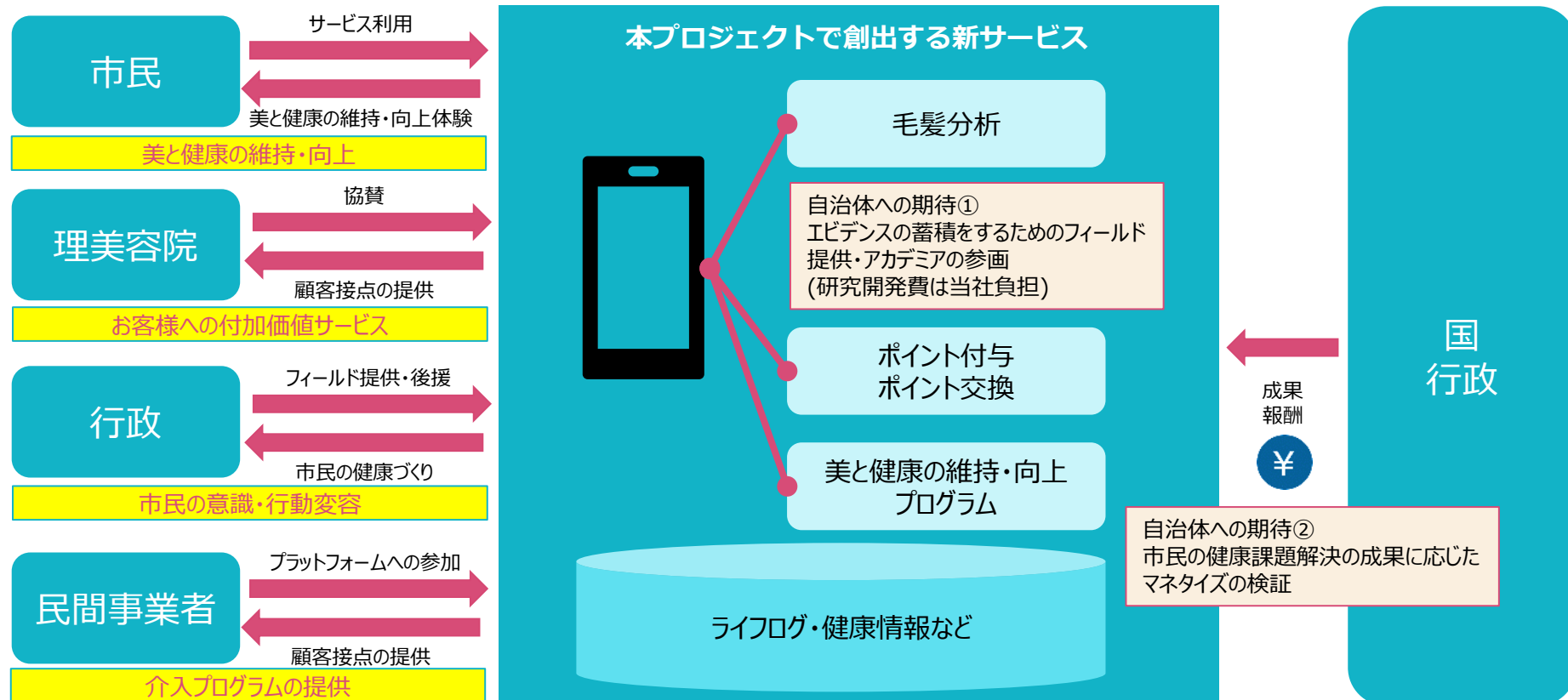
提案中・協議中の内容であるため
中間成果発表の現時点で内容が確定しているものではありません

来年度にサービス提供を目指し、今年度はビジネスモデルや顧客ニーズの検証に集中して取り組みをしています。



4. OSPFでの今後の方向性について

健康に無関心な市民が自然に美と健康に向き合い、結果としてWell-Beingが向上している社会を目指します。



我々の地域・社会課題の解決に向けた取組みに共感いただける会員企業のみなさま
様々な意見交換や連携をさせていただきたいと考えています



ヘルスケア プラットフォーム



普段の生活で
(健康な時)



病気の予防で
(病気になる前)



病気の治療で
(病気になったら)



健康になるために



見守るために
(介護のときに)

ご清聴ありがとうございました

ITで、社会の願い叶えよう。



＜本資料の取り扱いに関して＞

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。